

令和5年8月22日
教 育 総 務 課

令和5年第2回区議会定例会（代表・一般）における主な質問について

1. 議会日程等

会期：令和5年6月14日（水）～6月23日（金）

（1）代表質問 6月14日（水）・15日（木）

[質問者：5会派5名]

（2）一般質問 6月15日（木）・16日（金）

[質問者：31名]

2. 主な質問要旨等

別紙「令和5年第2回区議会定例会（代表・一般）における教育（文教）領域の主な質問・答弁の要旨」のとおり。

3. 世田谷区のホームページにおける閲覧

区議会本会議における全ての質問及び答弁については、世田谷区ホームページ上の「世田谷区議会」の「議会中継」又は「会議録検索システム」にて閲覧可能です。

※「会議録検索システム」における令和5年第2回区議会定例会の内容については、9月上旬公開予定。

【別紙】

令和5年第2回区議会定例会(代表・一般)における教育(文教)領域の主な質問・答弁の要旨

<代表>

※敬称略

項目	会派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
学校給食費無償化の対象拡大	自民	加藤 たいき	教育政策・生涯学習部長	区の給食費無償化は繰越金頼みの単年度事業で対象も区立校世帯に限られるなど無責任だ。事業を継続するならば区内の全児童生徒を包括した平等な施策とせよ。	6年度以降継続する際は広く理解されるよう努める。
教科担任制の全校展開	自民	加藤 たいき	学校教育部長	教科担任制には授業の質向上など利点が多いが、導入には各校への教員加配が課題となる。学び舎単位での担任制とするなど工夫を凝らし、早期に全校展開せよ。	区独自採用講師の配置拡充などに取り組んでいく。
給食費完全無償化の恒久的な実施	公明	岡本 のぶ子	副区長	区は財源を理由に6年度以降の完全無償化は改めて検討することとした。行財政改革を断行し、恒久化に向けた財源を確保せよ。	税外収入など財源確保の検討を進め区長の判断を仰ぐ。
不登校特例校分教室の早急な増設	公明	岡本 のぶ子	教育長	不登校特例校分教室は利用希望者が増加しており、拡充は急務だ。希望者を確実に受け入れられるよう、学校以外の公共施設も最大限に活用し早急に増設せよ。	複合型施設での開設も視野に入れ、早急に検討を進める。
教育大綱はインクルーシブ視点で	立憲れ	桜井 純子	教育長	不登校特例校等を設置し子どもを既存の学校から切り離すのではなく、学校現場が変わり全ての子どもが共に学び育つインクルーシブな視点の教育政策が必要だ。	インクルーシブ教育を学校の共通理念として浸透させる。
競争的ではない教育政策のあり方	立憲れ	桜井 純子	教育総合センター長	教育ビジョンの基本的な考え方にある「社会をたくましく生き抜く力」は競争社会を生み出し、子どもの生きづらさにつながることを踏まえた見直しを求める。	教育振興基本計画の中で新たな教育目標を検討する。
区立中で起きた体罰事件への謝罪	維無行	ひえしま 進	教育長	区立中で教師が生徒の首を絞めるなどの暴力を振るい、心身に深い傷を負わせる事件が発生した。教育長はこの事態を重く受け止め、生徒と保護者に謝罪せよ。	学校管理下で生徒がけがをしたことを深くお詫びする。

<代 表>

※敬称略

項目	会 派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
安全安心な教育環境の確保	維無行	ひえしま 進	教育長	区立小で教師が児童に暴言を繰り返し精神的に追い詰める事案が起きた。教育長は不安を抱く子どもや保護者の声に耳を傾け、安全安心な教育環境を確保せよ。	子どもの成長を支える学校組織となるよう全力を尽くす。
学校給食費無償化の継続を	共 産	中里 光夫	副区長	区が行った学校給食費無償化は区民に歓迎されている。教育費の負担軽減を求める区民の声を受け止め、来年度以降も継続せよ。	財源の課題や無償化の意義を整理し、区長の判断を仰ぐ。

<一 般>

※敬称略

項目	会 派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
子どもの意見を反映した部活動	立憲れ	中山 みずほ	学校教育 部長	よりよい子ども施策を行うには直接子どもの声を聞くことが肝要だ。子どもに影響が大きい部活動の地域移行に際しては部活に属さない生徒も含め意見聴取せよ。	全ての区立中学生や保護者にアンケートを行い考え方を伺う。
医療的ケア児の学ぶ環境の改善	維無行	桃野 芳文	教育総合 センター長	人工呼吸管理が必要な医療的ケア児でも保護者の付添いなく通学できるよう看護師配置を求めてきた。区は何らかの対応をするとしているが具体的に進捗を示せ。	5年度中にガイドラインを策定するため検討を進めている。
教員が安心して働ける環境づくり	自 民	山口 ひろひさ	学校教育 部長	教員が働きながら安心して妊娠や出産ができる環境づくりを推進すべきだ。妊娠初期などの休暇制度を充実するとともに、休暇を取りやすい組織風土を醸成せよ。	休暇制度の周知を図るとともに都に制度の充実を要望する。
防災の担い手となる若者の育成	国 際	神尾 りさ	学校教育 部長	地域住民を中心とした避難所運営では高齢化や固定化が課題だ。災害時に地域を支える若者の育成に向け、中学校で防災の担い手を育てる教育を推進せよ。	地域と連携した防災教育のさらなる拡充に向けて取り組む。
ICTを活用した学習環境の充実	自 民	河野 俊弘	教育総合 センター長	児童生徒に配付しているタブレットを一層活用すべきだ。自由研究や発表会の成果を学校間で共有するなど子どもの学習意欲向上につながる取組を推進せよ。	共有可能なものを整理しネットワーク環境の構築を進める。

< 一般 >

※敬称略

項目	会派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
学校の屋外プールでの酷暑対策	自 民	河野 俊弘	教育政策・生涯学習部長	近年、猛暑による日中の気温上昇などにより水泳授業を中止するケースが増えている。日よけ対策として効果的な遮熱ネットを学校の屋外プールに整備せよ。	他自治体の事例を参考にしながら、よりよい対策を検証する。
子どもの好奇心を育む学校づくり	風	つるみ けんご	教育長	子どもにとって学校は好奇心と学ぶ力を育む場であるべきだ。現在策定中の教育振興基本計画の中に区が今後取り組むべき教育行政の方向性として位置づけよ。	個々の子どもを主体とした学びのスタイルとして位置づける。
子どもの意見表明の権利保障	都 S	佐藤 美樹	教育政策・生涯学習部長	意見表明は子どもの権利を守る重要な要素だ。子どもが意見を形成し表明する力を高めるため、議論を交わす場の創出や意見を政策に反映する仕組みを設けよ。	意見を率直に表明できる環境と反映できる仕組みを整える。
学校の不審者侵入防止策の強化	公 明	津上 仁志	学校教育部長	児童生徒を狙った犯罪が全国で多発する中、学校での不審者侵入防止に係る対策が急務だ。校門への電子錠の設置拡大や警備員の常時配置などを早急に進めよ。	門扉への電子錠の設置と併せ警備員の配置拡大を検討する。
学校における包括的性教育の推進	生 ネ	おの みずき	学校教育部長	学校での性教育を推進すべきだ。リプロダクティブ・ヘルス/ライツのリーフレットを活用し適切な性知識の下、健康的な人間関係を築ける教育に取り組み。	リーフレットの活用方法を整理し、各学校に周知していく。
学校給食への有機農産物の活用	国 民	石原 せいじ	教育政策・生涯学習部長	子どもの健康や食育を推進する観点から、学校給食には安全性の高い食材を選ぶことが重要だ。化学肥料や農薬を使用していない有機農産物を積極的に取り入れよ。	価格面などの課題もあるが、可能な限り使用を広げていきたい。
給食食材の保護者への周知	国 民	石原 せいじ	教育政策・生涯学習部長	学校給食費の無償化を機に、保護者から食材の質の低下を不安視する声を聞く。国産食材など、安全性の高い食材を使用していることを保護者に積極的に周知せよ。	広報紙などでの情報発信や地域交流の機会を通じPRを図る。
学校での脱マスクに向けた取組	参政党	岡川 大記	教育政策・生涯学習部長	学校での脱マスクを推進すべきだ。一般的なマスクでは予防効果がないうことや、屋外での着用は換気を妨げ逆効果であるなどの情報を子どもや学校に発信せよ。	適宜、適切にマスク着用の見直しについて対応していく。

<一般>

※敬称略

項目	会派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
特別支援学級への移動支援の実施	公明	いたい ひとし	教育総合センター長	区内の特別支援学級は地域偏在があり、保護者の多くが遠方の学校まで子どもを送迎している。保護者の負担軽減に向け、バスなどを用いた移動支援を実施せよ。	地域偏在の解消を進め、個別の移動支援についても研究する。
学用品の完全無償化の実現	立憲れ	みや かおり	学校教育部長	昨今の厳しい経済事情に鑑み教育費における保護者負担の軽減が急務だ。学校入学時はもとよりその後も大きな負担となっている学用品の完全無償化を実現せよ。	社会全体で子育てを支援する視点を踏まえ、検討していく。
区立小での道徳教育の進め方	自民	坂口 賢一	学校教育部長	いじめの増加などを背景に、他人を思いやる心などについて学ぶ道徳教育の重要性が増している。効果が見えにくい教科だが、区立小ではどう取り組んでいるのか。	問題場면을想定した体験的な活動など工夫して実施している。
性と生殖に関する教育の推進	維無行	田中 優子	学校教育部長	子どもが性と生殖に関する適切な知識を学ぶ機会を充実すべきだ。区のリプロダクティブ・ヘルス/ライツに係るリーフレットを活用して性教育を推進せよ。	リーフレットの活用方法を整理し、各校への周知などを行う。